

新潟市

# 教育ビジョン

これからの社会をたくましく生き抜く力の育成

～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり～

第4期 実施計画

(令和2～6年度)

令和2年3月

新潟市教育委員会

# I 第4期実施計画の策定に当たって

## 1 計画策定の趣旨

本市は、政令指定都市移行を翌年に控えた平成18年度に「新潟市教育ビジョン 基本構想・基本計画」（以下、「教育ビジョン」）を策定しました。この教育ビジョンでは、「政令市新潟」が目指すべき将来像を描く中で、次代の新潟を支え、世界に羽ばたく心豊かな子どもを育み、市民が学び育つ社会づくりのための、本市の教育の方向とあり方を明確にしました。

また、前期実施計画（平成19～21年度）、後期実施計画（平成22～26年度）、第3期実施計画（平成27～令和元年度）を定め、「教育ビジョン」に沿った取組を着実に進めてきました。

特に、「教育ビジョン」で示した「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」は、13か年に渡る施策事業の推進を通し、学校と地域が協働する取組として注目されるものとなりました。

この度、第3期実施計画の計画期間が終了するに当たり、これまでの計画の実施状況に加え、子どもが置かれた生活状況や社会情勢の変化などを踏まえて、基本計画において新たに「中心的な考え方」を設定し、その実現に向けて施策を整理しました。第4期実施計画は、基本計画を受け、実施する事業計画を示したもので、次代の新潟市を担う人づくりを推進する指針とします。

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
基本構想	3つの基本目標と3つの目指す方向																		□□□
基本計画	14の基本施策と62の施策							13の基本施策と54の施策					12の基本施策と34の施策						□□
実施計画	← 前期実施計画			← 後期実施計画				← 第3期実施計画					← 第4期実施計画						□□□

## 2 計画の位置づけ

この「教育ビジョン」の第4期実施計画は、教育基本法第17条第2項に規定される、地方公共団体が策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画として策定します。

## 3 計画の期間

実施計画の期間は、令和2年度から令和6年度までの5か年とします。

## 4 計画の対象事業

教育委員会が現在所管している、市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校における教育と、幼児から高齢者までの生涯学習全般において、「教育ビジョン」の基本施策に基づいて取り組む事業を対象にしています。

## II

## 施策体系

### 新潟市教育ビジョン

#### 基本構想

3つの基本目標と、学校教育、生涯学習、教育行政の目指す方向

#### 基本計画

中心的な考え方、基本構想を実現する12の基本施策と34の施策

#### 実施計画

基本計画を具体化する各種事業の実施計画

## III

## 基本構想

### 1 基本目標

- 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども
- 生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民
- 自立した学びと開かれた学びを支援する学習環境

### 2 目指す方向

#### (1) 学校教育の方向

- ・自分の力に自信をもち、地域を誇れる子ども
- ・「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」を備え、市民感覚に富んだ教師
- ・校種間、学校間連携と外部の力を生かした学校づくり
- ・地域・保護者・学校が共に学校教育を考える参画型システムの深化

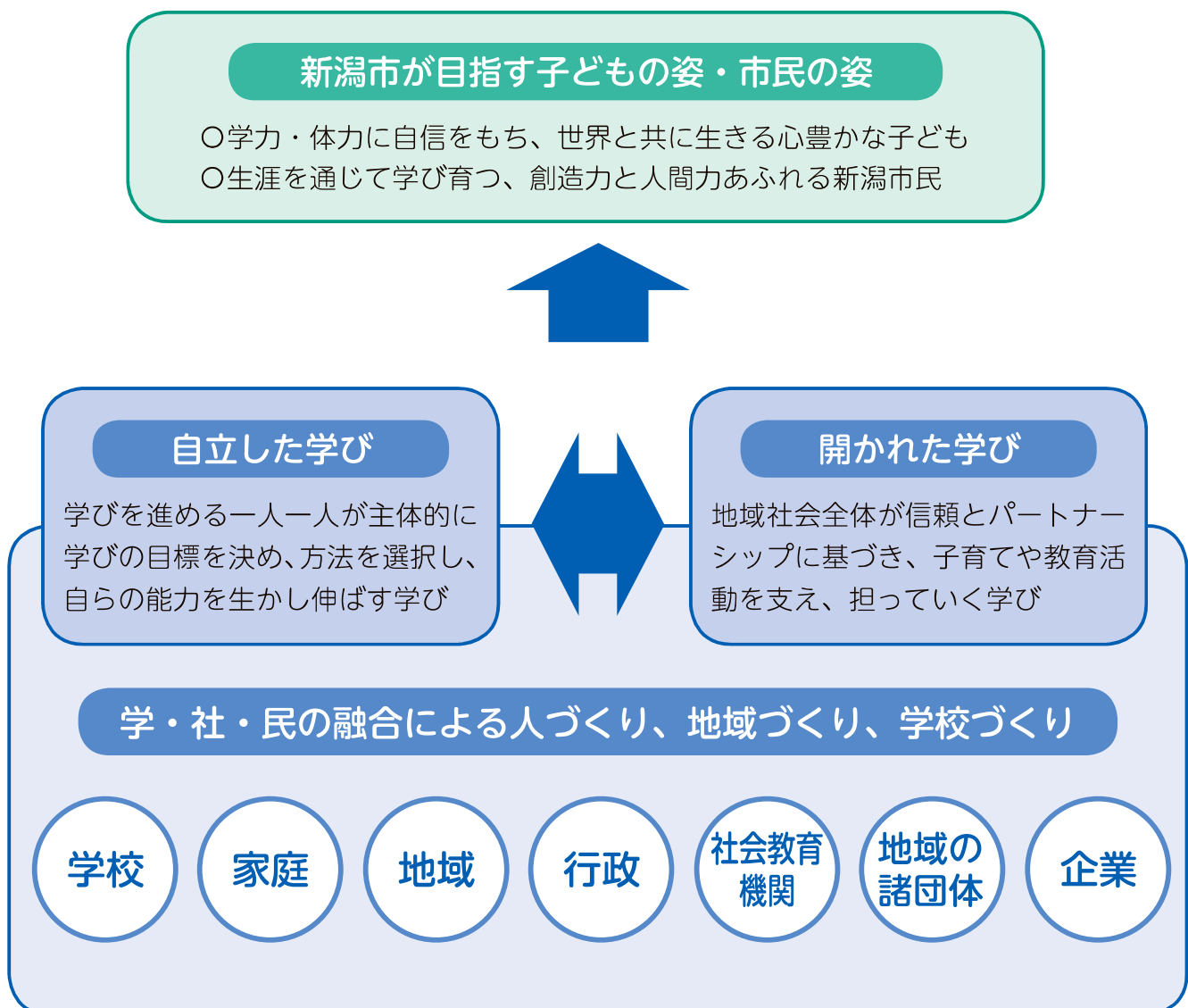
(2)生涯学習の方向

- ・公民館や図書館などの学びの場を核とした、絆づくりと活力あるコミュニティの形成
- ・現代的・社会的課題やライフステージなど、一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実
- ・学校での地域活動拠点づくりや職員の資質向上など、生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備

(3)教育行政の方向

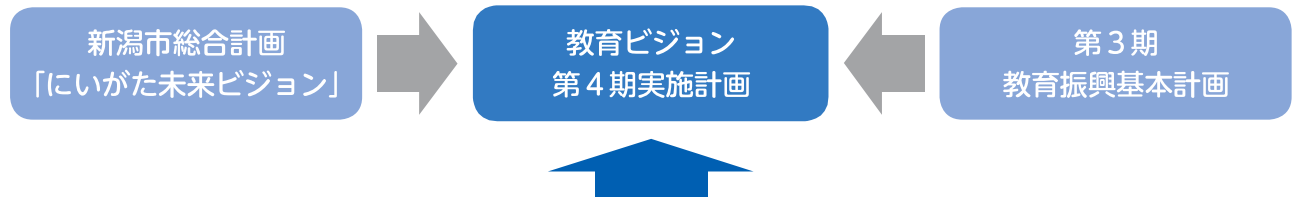
- ・生涯にわたる教育や学習に対するニーズと課題に対応する現場を重視した体制づくり
- ・学・社・民の融合による教育の推進と学びのセーフティネットの構築
- ・地域の特徴を磨き、伸ばす、学びと育ちへの支援

## IV 基本構想の構造図



## 1 中心的な考え方

第4期実施計画の策定に当たっては、<sup>\*1</sup>第3期実施計画の成果と課題を踏まえ、取組の精選や重点化を図りました。また、その際には、国の第3期教育振興基本計画を十分に参酌するとともに、本市の総合計画「にいがた未来ビジョン」の内容とも調整を図りました。



## 《中心的な考え方のテーマ》

## これからの社会をたくましく生き抜く力の育成 ～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり～

「これからの社会」とは、人口減少や高齢化、グローバル化の進展に伴う外国人とのかかわりの増加、超スマート社会の実現など、これまで誰も経験したことのない社会です。本市においても、<sup>\*2</sup>若者の県外流出等による人口減少や高齢化により、地域の活性化とそれを推し進める人材の確保や育成が必要となってきます。

学びを生かしたり、他者と協働したりしながら、課題解決や自己実現に向けて、様々なことに挑戦し続けるなど、「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育てることで、主体的に物事を成し遂げることができる人材を学・社・民が一体となって育成していきます。

■本市が考える「たくましく生き抜く力」とは

学校教育においては、目標に向かって自らの学びを生かしたり、他者と協働したりしながら、様々なことに挑戦し続ける力、また、その過程で自分を振り返り、自分の成長を見出す力。

生涯学習においては、いくつになっても、何度でも学びに向かおうとする意欲をもち、新たな自分を発見したり、生きがいを見つけたりする力、また、自分の学習成果を更なる活動に生かそうとする力。

《5つの視点》 第4期実施計画では、次の視点から重点的な取組を行います。

### 新潟市の教育を推進する3つの視点

- 【視点1】 これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。
- 【視点2】 学びの循環による人づくり、地域づくりを進めます。
- 【視点3】 地域と一体となった学校づくりを進めます。

### 学びの基盤を固める2つの視点

- 【視点4】 誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。
- 【視点5】 市民に信頼される、魅力ある教育関係職員の育成に努めます。

《中心的な考え方のテーマ》

**これからの社会をたくましく生き抜く力の育成**  
～学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり～

《新潟市の教育を推進する3つの視点》

- 視点1：これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。  
視点2：学びの循環による人づくり、地域づくりを進めます。  
視点3：地域と一体となった学校づくりを進めます。

《学びの基盤を固める2つの視点》

- 視点4：誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。  
視点5：市民に信頼される、魅力ある教育関係職員の育成に努めます。

「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育てていくためには、生まれ育った環境に左右されず、誰もが安心して学ぶことができるよう「学びの基盤を固める2つの視点」の取組を着実に実施することが基本となります。その上で、「新潟市の教育を推進する3つの視点」の取組を以下のように推進します。

《新潟市の教育を推進する3つの視点》

**【視点1】 これからの社会で自信をもって自己実現していける子どもを育てます。**

主体的に物事を成し遂げようとするためには、自分で自分の価値を認め、自分を大切にしようとする気持ち、すなわち自己肯定感が重要です。学校教育においては、これまで、子どもの学習活動の中で、認め合いを重視し、子どもの自己肯定感を高めるように努めてきました。

※<sup>3</sup>新潟市生活・学習意識調査によると、本市の小中学生は、大人や友達に認められる経験をしていると回答する割合が、学年の別なく高い水準にあります。一方で、学年が進むにつれ、自分に良いところがあると回答する割合が低くなる傾向が見られます。そこで、他者から認められることに加え、自分の取組を振り返り、成長を実感させることを大切にします。子どもが目標に向かって、失敗からの学びも糧とし、挑戦し続ける体験を通して子どもの自己肯定感を高めていきます。

また、人とのかわりの中で自己実現していくために、互いに考えを伝え合い、合意形成したり課題を解決したりするコミュニケーション能力は、これからの社会では、ますます必要な力となります。幼稚園教育要領・学習指導要領の趣旨を踏まえた着実な実践により、言葉を用



いたコミュニケーションだけでなく、道具としてICT機器を用いたり、行動を通して思いを伝えたりするなど、柔軟にコミュニケーションすることができる力を高めることを通じて、人のかかわりの中で自己実現していける子どもを育てていきます。

このような取組は、子どもたちが互いに認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う温かい学校・学級の支持的風土を醸成することにより、一層の成果が期待されます。学校生活の様々な場面で学校・学級の支持的風土づくりを推進します。

## 【視点2】 学びの循環による人づくり、地域づくりを進めます。

生涯学習においては、これまでも、市民のニーズに応じて様々な学びの場を提供してきました。<sup>\*4</sup> 人生100年時代の到来を見据え、「ともに学び、育ち、創る」生涯学習社会の一層の充実が求められています。社会教育や生涯学習活動で一人一人の興味・関心を深め、そこで培った能力や知識・経験を生かし、ボランティア活動、社会活動等に取り組み、それらを通してさらに学びを深め、新たな学習活動に進むなど、学習成果をさらなる活動に生かすことが大切です。そのために、誰もが、いくつになっても、何度でも学ぶことができ、新たな自分を発見したり、生きがいを見つけたりすることができる場を提供していきます。また、自ら学んだ成果を地域で生かし、学びを継承していくことで、新たなつながりを広げ、地域課題の解決や地域の活性化を推し進める人材の育成を進めることができます。

学習成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習の推進に一層力を入れていきます。

## 【視点3】 地域と一体となった学校づくりを進めます。

<sup>\*5</sup> 本市においては、「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」の取組の推進によって、地域の力を生かした教育活動が行われてきました。児童生徒の学びの充実だけでなく、安心安全や学校経営に対する評価など、様々な場面で地域と学校が深くかかわっています。

本市では、その取組で得られた成果を最大限に生かし、地域と学校が目標を共有し、一体となった取組を進めることで、より多くの人材が学校づくりに参画できるようにし、子どもの学習活動をますます豊かなものにしていきます。

## 《学びの基盤を固める2つの視点》

## 【視点4】 誰もが安心して学べる環境づくりを進めます。

前向きな気持ちで充実した学びを実現していくためには、安心して学びに向かうことができる環境が整っていることが大切です。そのためには、経済的な支援や就学支援、特別支援教育の推進、安心安全な学びの場づくり、健康づくりの支援、学びの機会の提供など、ソフト面とハード面の両面から、一人一人の困り感や意欲に応じた取組や学びに向かう土台づくりが必要です。

多様なニーズを踏まえた幅広い施策を、継続的に、着実に実施することで、「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育むための環境を整えていきます。

## 【視点5】 市民に信頼される、魅力ある教育関係職員の育成に努めます。

「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育成していくためには、教育関係職員が、市民に信頼され、魅力ある職員であることが大切です。社会の変化や職員のキャリアを踏まえた研修を実施し、一人一人の資質・能力を高めるとともに、教育関係職員の働き方改革を進め、一人一人がその力を十分発揮できるようにします。

### \*注 釈

- ※1：学識経験者、小中学校長等からなる教育ビジョン推進委員会では、教育委員会全所属による評価を受け、実施計画とその進捗状況に対して意見を述べたり助言をしたりしている。また、その結果をホームページで公開している。
- ※2：職業を理由にした転出者数では、20～24歳の県外転出が顕著であり、魅力ある産業・雇用の場の確保が課題になっている。また、15～19歳の世代における学業を理由とした県外転出が顕著である。本市で誇りをもって学ぶことができる環境づくりが課題となる。(にいがた未来ビジョンより)
- ※3：本市の小中学生を対象とした新潟市生活・学習意識調査によれば、「やっていることを先生や友達に認められて、うれしいと感じることがよくあります」に「あてはまる」と回答した子どもは、どの学年でもおおむね50%台で、学年ごとの大きな違いは見られない。(「ややあてはまる」を含めると小学校1年生で87.8%、中学校3年生で87.0%)認められた対象が地域の大人などの場合も同傾向である。一方、「自分にはよいところがあります」に「あてはまる」と回答した子どもの割合は、小学校1年生では67.2%で、学年が進むにつれて減少し、中学校3年生では31.4%になっている。(「ややあてはまる」を含めると小学校1年生で90%、中学校3年生で73.4%)数字は平成30年度の調査による。例年同様の傾向が見られる。
- ※4：第31期新潟市社会教育委員会議・建議より。
- ※5：全ての小中学校に地域教育コーディネーターが配置され、地域の力を生かした教育活動が行われている。



# VI 実施計画

## 1 第4期実施計画体系図

### 1 確かな学力の向上

#### 1 資質・能力を育む授業づくりの推進【視点1】

「主体的・対話的で深い学び」を視点とした教育活動の推進

アフタースクール学習支援事業

学習支援ボランティア派遣事業

理科支援員派遣事業

家庭学習習慣の定着

学力実態調査の分析

#### 2 学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進【視点1】

キャリア教育推進事業

市立高等学校・中等教育学校後期課程のキャリア教育推進事業

#### 3 実感を伴って学ぶアグリ・スタディ・プログラムの推進

「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進事業

#### 4 読書活動の推進と新聞活用の充実

学校図書館支援センター事業

学校図書館活用推進校事業

新聞活用の推進

### 2 豊かな心と健やかな身体の育成

#### 1 いのちの教育・心の教育の推進【視点4】

道徳教育の充実、福祉教育の充実

#### 2 自立を促す生徒指導の推進【視点4】

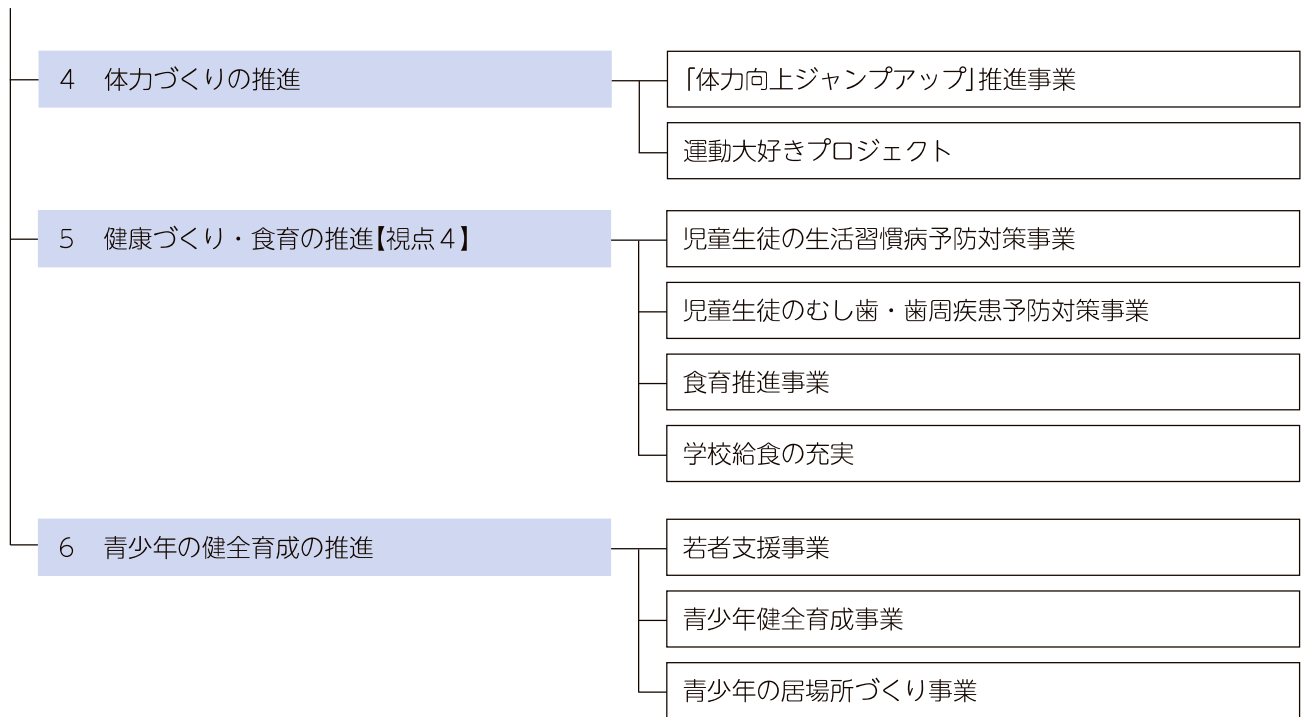
自律性と社会性を育む生徒指導の推進事業

いじめ・不登校対応への支援  
カウンセラー等活用事業

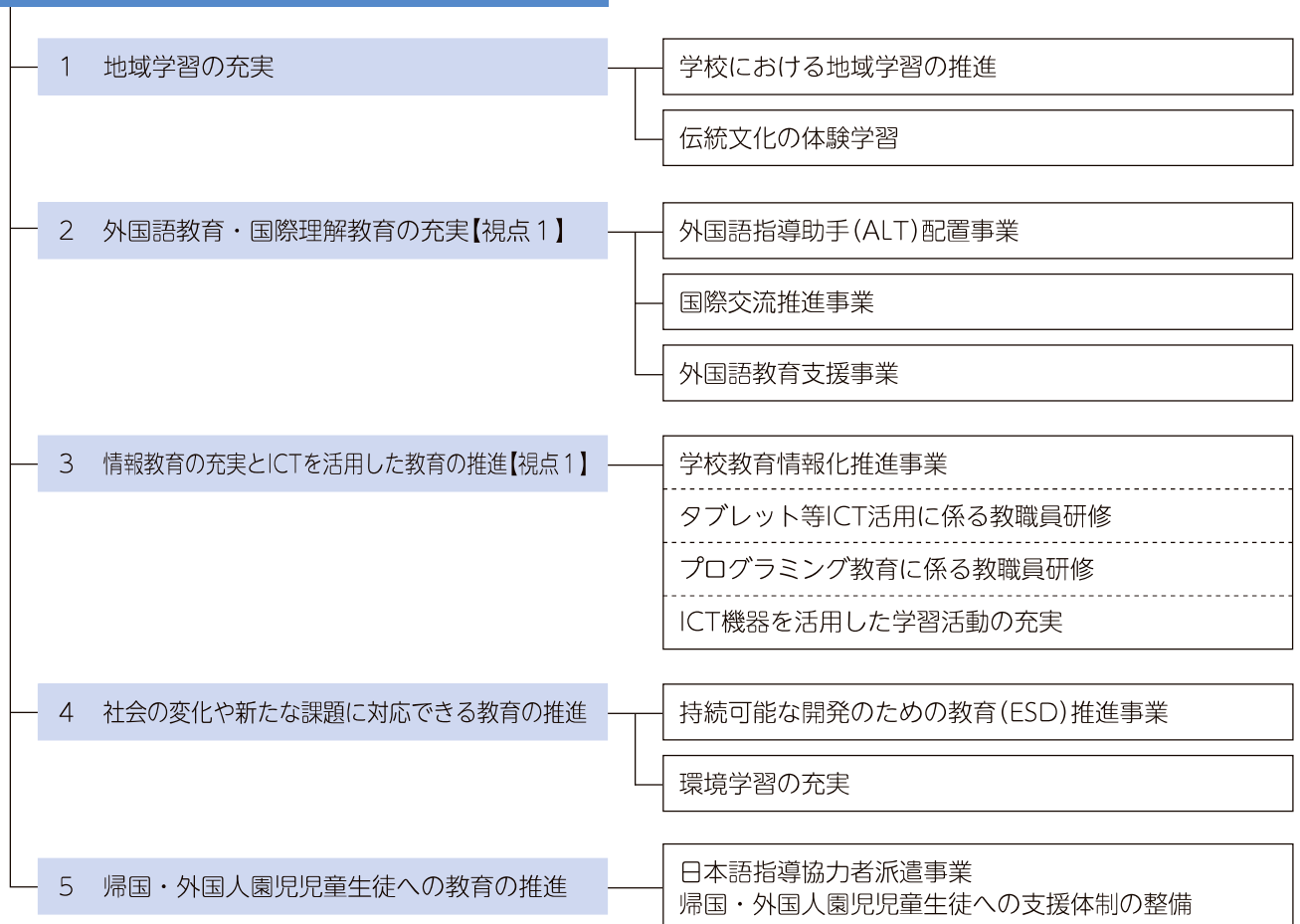
#### 3 体験活動の充実

子ども体験活動の実施

優れた音楽・芸術に触れる機会の提供



### 3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成



#### 4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

1 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進【視点4】

合理的配慮の提供

特別支援教育サポートネットワーク事業

早期からの就学支援推進事業

#### 5 校種間・学校間連携を生かした特色ある学校園づくり

1 就学前から義務教育修了までの一貫した教育の推進

幼保こ小連携推進事業

新潟市の小中一貫した教育の推進

#### 6 人権を守り共に支え合う社会の推進

1 人権教育・同和教育の推進、男女平等教育の推進

学校における人権教育・同和教育の推進

公民館における人権教育の推進

新潟市人権教育研修会

男女平等教育の推進

各種啓発図書の展示

#### 7 家庭教育の充実と子育て支援

1 家庭教育・子育て支援の充実【視点2】

家庭教育振興事業

子育て支援事業

2 乳幼児期からの読書活動推進【視点2】

ブックスタート事業

赤ちゃんタイム

## 8 人生100年時代を見据えた循環型生涯学習の推進

### 1 学び育つ各世代への支援【視点2】

- にいがた市民大学開設事業
- 現代的課題を学ぶ公民館事業と学習成果を発表する場の提供
- 子どもの読書環境整備事業
- 市民に身近な生活課題解決のための情報提供事業

### 2 学習成果を生かす活動への支援【視点2】

- 生涯学習ボランティア育成事業
- 地域活動を担う人材の育成

## 9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

### 1 地域と共にある学校づくりの推進【視点3】

- コミュニティ・スクール推進事業
- 地域と学校パートナーシップ事業

### 2 広報広聴活動の推進

- 区教育ミーティングの開催
- 中学校区教育ミーティングの開催
- 教育情報発信事業

### 3 地域人材や高等教育機関、企業等との連携の推進

- 子どもふれあいスクール事業
- 公民館と地域団体との協働事業
- 図書館と教育機関・企業との連携協力
- 教職員研修における大学との連携

## 10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

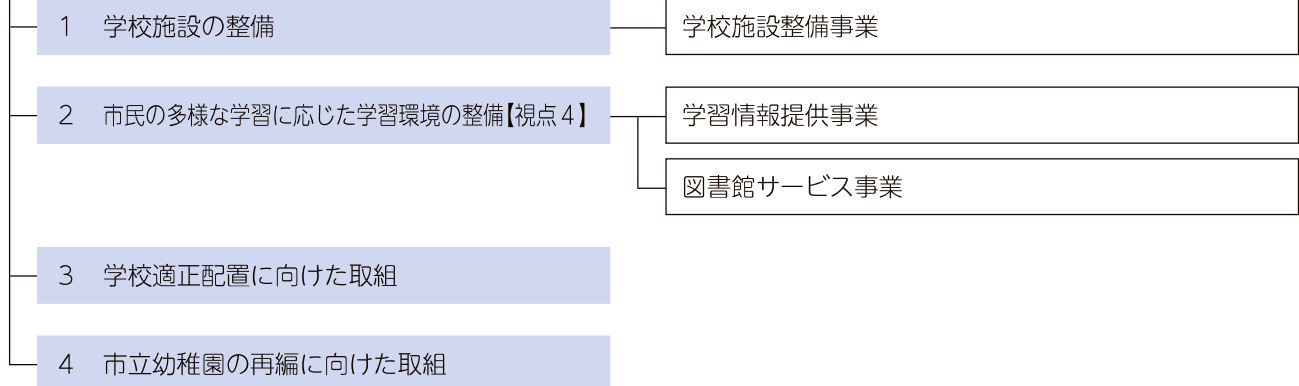
### 1 保護者や地域と連携した安心安全な学校づくりの推進【視点4】

- 地域見守り活動支援事業
- 「防災教育」学校・地域連携事業

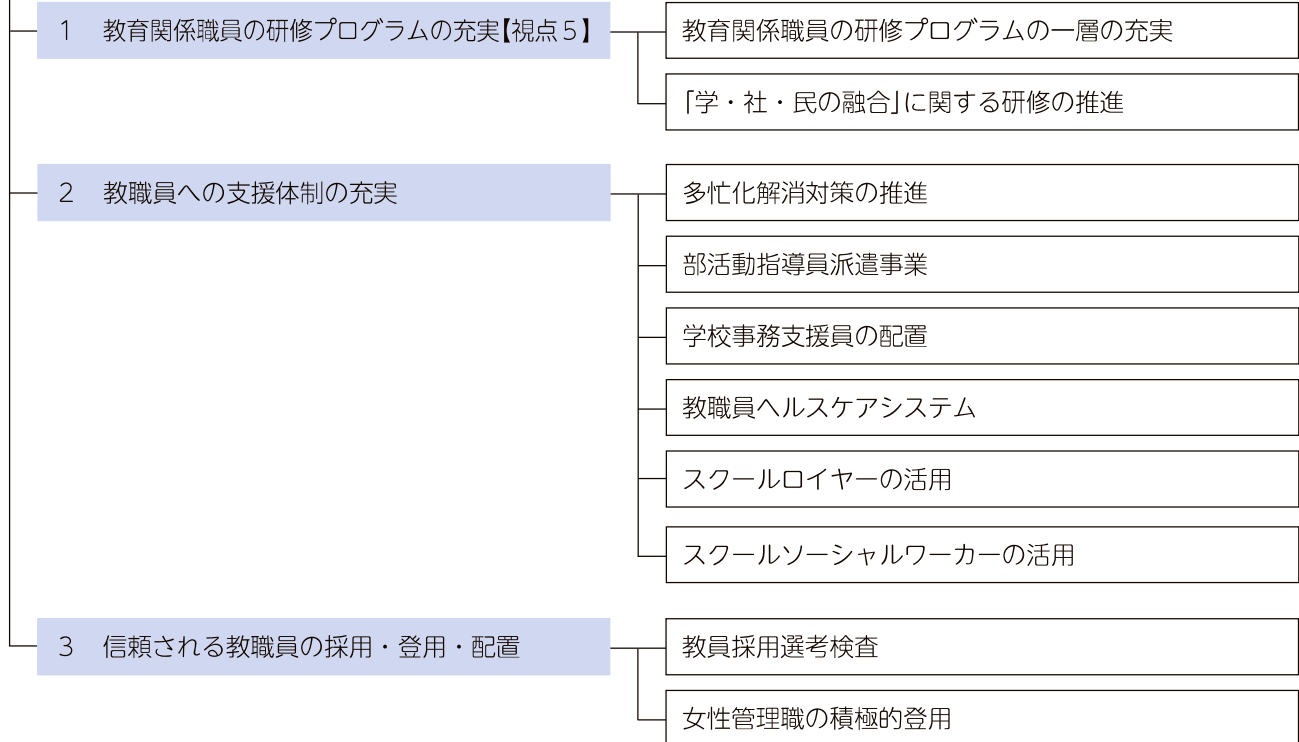
### 2 教育の機会均等を図るための取組の推進【視点4】

- 就学援助制度
- 新潟市奨学金貸付事業

## 11 学校教育・生涯学習環境の基盤づくり



## 12 市民に信頼される教育関係職員の育成



※ 各施策のねらいや事業の概要については、『新潟市教育ビジョン第4期実施計画』の本冊をご覧ください。

新潟市HPから「新潟市教育ビジョン」で検索していただくか、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.niigata.lg.jp/smph/shisei/seisaku/seisaku/keikaku/kyoikuiinkai/kyoikuvision/index.html>

